

2026年度 通信教育実施計画

教科	美術	科目名	美術	単位数	2 単位
教育目標	美術の授業を通じて、作品を制作する。作品を制作することを通じて色彩感覚や立体感覚を磨きながら、美的価値観を感じる事のできる感性を養うのと共に、作品制作で使用する用具や画材の性質を正確に理解しながら、適切に使いこなす技能・技術を養う。				
スクーリング	4 時間	合格時間数	4 時間	教科書名	日本文教出版 高校美術
レポート	6 通	合格通数	6 通	副教材名	なし
メディア学習	6 通	合格通数	6 通	その他教材	画用紙・色鉛筆等
評価	5段階評価、観点別評価の実施			単位認定試験	9月・2月

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習
4月	配置と構図	身のまわりのものの形態や高さ・構成を観察。そこから作品が出来るよう、演習。	前期2回	No1	No.1
5月	身近な風景	津上みゆき等の作家の作品を鑑賞。それを例に、時間や風景の持つ美的価値を学ぶ。		No2	No.2
6月	感覚と表現	カンディンスキーなどの作品を鑑賞。更に、モネの睡蓮などを鑑賞し、風景などモチーフの持つ美的感覚を学ぶ。		No3	No.3
7月	デッサンとタッチ	実技演習。素描を描く。タッチと立体感覚		上記の継続	上記の継続
8月	復習	前期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。		上記の継続	上記の継続
9月	復習	前期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。		上記の継続	上記の継続
10月	過去 現在 未来の アート	アーティスト、村上隆。を通じて伝統的な日本絵画から、漫画までに於ける平面の学習	後期2回	No.4	No.4
11月	線や面で捉えて描く	輪郭の形を捉えていく演習とともに明暗を捉える。作品鑑賞として、ピカソ ゴッホ ガルシアのものを鑑賞。		No.5	No.5
12月	ポスターで考える	ポスターの鑑賞・制作を通じ、コミュニケーションツールとしてのポスターを知る		No.6	No.6
1月	復習	後期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。		上記の継続	上記の継続
2月	復習	後期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。		上記の継続	上記の継続